

八戸港沖パナマ籍貨物船海難 油流出事案活動報告（8 / 25）

昨日の対応

- ・「白山」の対応

派遣要請が解除され、八戸港を出港（23日12時）し
横浜港に向け回航中

本日の対応

- ・「白山」の対応

横浜港入港、船体及び機器等清掃

今後の対応

- ・「白山」の対応

当面、横浜港にて船体及び機器等清掃
終了後、新潟港に帰還予定

令和3年8月23日（月）時点

～八戸港沖パナマ籍貨物船の海難 油流出事案に関する取り組み～

令和3年8月11日（水）午前、八戸港内で錨泊中のパナマ船籍貨物船「CRIMSON POLARIS」が座礁により油が流出しました。第二管区海上保安本部から東北地方整備局に対する防除措置の要請を受け、北陸地方整備局の大型浚渫兼油回収船「白山」が、8月13日（金）15時10分に現場海域に到着し、油回収作業を実施しております。

令和3年8月23日（月）

○大型浚渫兼油回収船「白山」の活動状況

■派遣要請解除、八戸港を出港（12時00分）し横浜港に向け回航

令和3年8月22日（日）

○大型浚渫兼油回収船「白山」の活動状況

■作業内容

船体及び装備の点検・調整

令和3年8月21日（土）

○大型浚渫兼油回収船「白山」の活動状況

■作業内容

航走及び放水拡散作業

■作業エリア



■状況写真



▲航走及び放水拡散状況（「白山」船上から）

○東北地方整備局との「港湾関係での災害発生時における応急対策業務に関する包括的協定」に基づく「（一社）日本埋立浚渫協会東北支部」（以下、「埋浚」という）の活動状況

■作業内容

油吸着材による防除作業

■作業エリア



■状況写真



▲埋浚 吸着マットによる油の回収作業

令和3年8月20日（金）

○大型浚渫兼油回収船「白山」の活動状況

■作業内容

航走拡散作業

■作業エリア



■状況写真



▲航走拡散状況（「白山」船上から）

○東北地方整備局との「港湾関係での災害発生時における応急対策業務に関する包括的協定」に基づく「（一社）日本埋立浚渫協会東北支部」（以下、「埋浚」という）の活動状況

■作業内容

油吸着材による防除作業

■作業エリア



■状況写真



▲埋浚 護岸に付着した油の回収作業

令和3年8月19日（木）

○大型浚渫兼油回収船「白山」の活動状況

■作業内容

航走及び放水拡散作業

■作業エリア



■状況写真



▲航走及び放水拡散状況
(中央「白山」 右奥:C号)

○東北地方整備局との「港湾関係での災害発生時における応急対策業務に関する包括的協定」に基づく「(一社)日本埋立浚渫協会東北支部」(以下、「埋浚」という)の活動状況

■作業内容

油吸着材による防除作業

■作業エリア



■状況写真



▲埋浚作業船 油吸着材吹き流し型
による防除作業状況

令和3年8月18日（水）

○大型浚渫兼油回収船「白山」の活動状況

■作業内容

船体及び装備の点検・調整

○東北地方整備局との「港湾関係での災害発生時における応急対策業務に関する包括的協定」に基づく「（一社）日本埋立浚渫協会東北支部」（以下、「埋浚」という）の活動状況

■作業内容

油吸着材による防除作業

■作業エリア



■状況写真



▲埋浚作業船 油吸着材吹き流し型による防除作業状況



▲油吸着材 上：吹き流し型
下：マット型

令和3年8月17日（火）

○大型浚渫兼油回収船「白山」の活動状況

■作業内容

05時50分 油回収作業を開始

15時00分 油回収作業を終了

■海水分を含む油水量 約7,300m³

■作業エリア



■状況写真



▲油回収作業状況（「白山」正面）



▲「白山」油回収機



▲「白山」油水槽に回収した流出油

令和3年8月16日（月）

○大型浚渫兼油回収船「白山」の活動状況

■作業内容

06時35分 油回収作業を開始

15時30分 油回収作業を終了

■海水分を含む油水量 約7,100m³

■作業エリア



■状況写真

【提供：第二管区海上保安本部】



▲油回収作業状況（左：C号 中央「白山」）



▲「白山」油回収機

令和3年8月15日（日）

○大型浚渫兼油回収船「白山」の活動状況

■作業内容

07時30分 油回収作業を開始

16時30分 油回収作業を終了

■海水分を含む油水量 約1,550m³

■作業エリア



■状況写真



▲油回収作業状況「白山」



▲油回収作業状況（「白山」船上から）



▲「白山」油回収機

令和3年8月14日(土)

○大型浚渫兼油回収船「白山」の活動状況

■作業内容

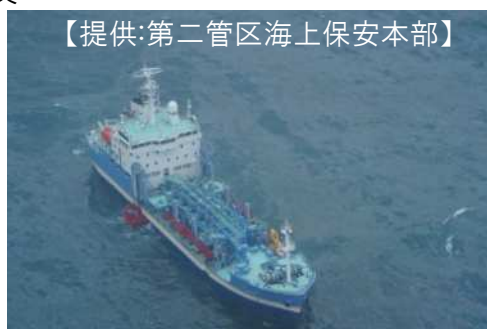
- 08時37分 航走及び放水拡散作業を開始
- 10時53分 海象状況を踏まえ油回収作業を開始
- 14時50分 油回収作業を終了

■海水分を含む油水量 約1,100m³

■作業エリア



■状況写真



▲油回収作業状況「白山」



▲航走及び放水拡散状況(「白山」船上から)



▲「白山」油回収機

令和3年8月13日（金）

○大型浚渫兼油回収船「白山」の活動状況

■作業内容

- 15時35分 航走及び放水拡散作業を開始
- 17時30分 航走及び放水拡散作業を終了

■作業エリア



■状況写真



▲航走及び放水拡散作業状況(右手前「白山」)



▲航走及び放水拡散状況(「白山」船上から)



▲航走及び放水拡散状況(「白山」船上から)



▲「白山」船内の様子

令和3年8月12日（木）

○大型浚渫兼油回収船「白山」：新潟港を出港（11時34分）

しゅんせつ はくさん
【参考】大型浚渫兼油回収船「白山」の概要

平成9年1月のロシア船籍タンカー「ナホトカ号」による重油流出事故では、約 6,000kl もの重油が流出し、福井県沿岸をはじめとする日本海沿岸に甚大な被害をもたらしました。

この事故をきっかけに、流出油災害の防除体制の強化が求められ、国土交通省では、
せいらゆうまる かいしやうまる
日本沿岸の油流出事故に対し、中部地方整備局「清龍丸」・九州地方整備局「海翔丸」・北
はくさん
陸地方整備局「白山」の油回収船3船体制で48時間以内に現場に到着できる体制を整え
はくさん
ることとし、平成14年8月に「白山」が新潟港湾・空港整備事務所に配備されました。

しゅんせつ はくさん
大型浚渫兼油回収船「白山」の諸元

- ・全長 93.9m ・幅 17.0m
- ・深さ 7.5m ・総トン数 4,185t
- ・航行速力 12.5kt(時速約 23km/h)
- ・浚渫方式 サイドドラグ式
- ・泥倉容量 1,350 m³
- ・油回収機
舷側設置式 500 m³/h×2 基
投げ込み式 30 m³/h×1 基
- ・回収油水槽容量 1,500 m³



◆大型浚渫兼油回収船 3 船体制での油回収エリア

(H：時間)

- はく さん
— 白 山 (新潟港)
- せいらゆうまる
— 清 龍 丸 (名古屋港)
- かいしやうまる
— 海 翔 丸 (北九州港)

